

六ヶ所村 地震ハザードマップ

わが家の防災メモ

緊急連絡先

家族の集合場所

我が家の避難場所

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

緊急時の連絡先

官公庁		警察署	
六ヶ所村役場	0175-72-2111	野辺地警察署	0175-64-2121
六ヶ所村役場 泊出張所	0175-77-2004	野辺地警察署 尾駮交番	0175-72-2110
六ヶ所村役場 平沼出張所	0175-75-2111	野辺地警察署 千歳平駐在所	0175-74-3110
六ヶ所村役場 千歳平出張所	0175-74-2074	野辺地警察署 平沼駐在所	0175-75-2110
診療所		消防署	
六ヶ所村地域家庭医療センター	0175-73-7122	六ヶ所消防署	0175-72-2301
泊診療所	0175-77-2030	六ヶ所消防署 北分署	0175-77-3525
千歳平診療所	0175-74-2301	六ヶ所消防署 南分署	0175-75-2000

六ヶ所村役場

令和元年 12 月


地震が起きた時、取るべき行動

地震発生時には、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で強い揺れを感じた場合は、すぐに津波が来襲することがありますので、津波警報や津波注意報の発表を待たず、ただちに高台などに避難してください。

地震発生 命を守る

★「頭を守る」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて自分の身を守る。

★ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。




1～5分 家族を守る

揺れが収まってから行動

★家族の安全を確認。
★火の元を確認・初期消火。
★足をケガしないように靴を履く。
★必需品を手元に用意する。


沿岸部は津波の恐れがあるので高台などに避難

★余震に注意。
★電気のパレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
★家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。




5～10分 地域を守る

★隣近所の安全を確認。
★避難行動要支援者等の支援。
★携帯電話・スマートフォン等で情報を確認。



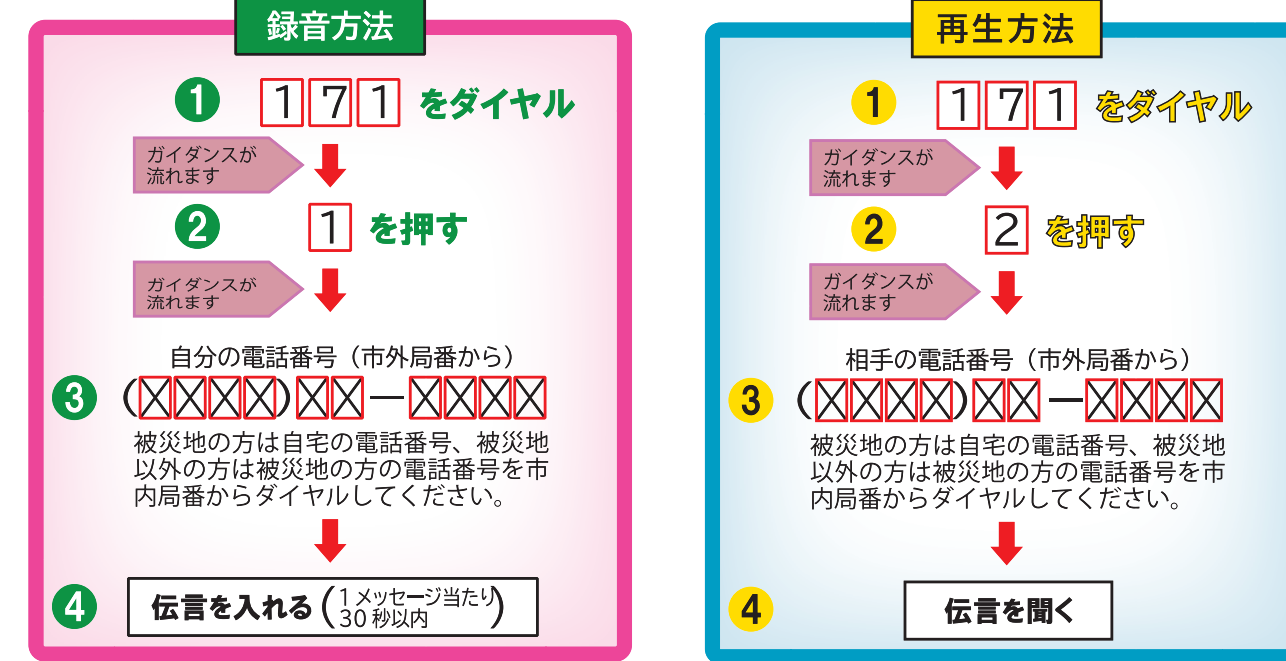
10分～数時間後 助け合いの心で 避難生活

★協力して消火・救出活動。
★水・食料は備蓄でまかなう。
★災害情報、被害情報の収集。
★壊れた家には入らない。
★引き続き余震に注意。
★避難所では集団生活のルールを守る。



災害用伝言ダイヤル171

家族間や知人間などの、安否の確認・連絡に活用できます。ご利用にあたっての事前契約等は、一切不要です。



※ 利用可能な端末は NTT の一般電話・公衆電話・携帯電話です。
 ※ 携帯電話のご利用に関して(一部の通信事業者を除く)詳しくはお客様がご契約されている通信事業者へご確認をお願いします。
 ※ 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている人すべての人が聞くことができます。
 ※ 暗証番号(任意の数字4桁)により、他人に聞かれない伝言など特定の方々の間での伝言録音・再生もできます。

地域の危険度マップ

「地域の危険度マップ」とは、50mメッシュ単位で全壊する建物の割合(全壊率)を地域の危険度として、5段階で表した地図です。全壊率は「ゆれやすさマップ」で算出した震度と地区の建物構造及び建築年次別の建物棟数の割合をもとに、過去の地震による建物被害の経験式により算出しました。マップは危険度が高い地域ほど倒壊する建物の割合が多いことを表しており、建物一棟ごとの危険度を表したものではありません。地震に対する建物の強さは、個々の建物によって異なりますが建物被害の予想される地区では、それぞれの建物に応じた耐震改修や地震に対する備えをおこなう必要があります。このマップの作成方法は、平成17年3月に内閣府が策定した「地震防災マップ作成技術資料」に基づいています。

危険度マップの凡例

全壊率

●全壊率とは
地震等の自然災害による建物の被害の程度の中でも、最も大きく被害を受けた状態を指します。平成13年6月に国によって定められた「災害の被害認定基準」の中で、「住居がその住居のための基本的機能を喪失した」と定義され、住宅の全体もしくは一部の階が全て倒壊、外壁や柱の傾斜が1/20以上であるとされています。

危険度5	危険度4	危険度3	危険度2	危険度1
30%以上	20~30%	10~20%	5~10%	0.1~5%

緊急輸送道路

● 第1次
● 第2次

避難所等の地図記号

指定緊急避難場所
指定避難所
指定緊急避難場所

指定緊急避難場所等一覧

番号	避難場所名	所在地	電話番号
1	泊小学校グラウンド	泊字川原 75-17	77-3014
2	泊避難所	泊字滝川 53-1	
3	地域交流ホーム	出戸字橋沢 130-17	72-3455
4	第一中学校グラウンド	尾駮字野附 1054	72-2040
5	尾駮小学校グラウンド	尾駮字野附 1304-1	72-3400
6	文化交流プラザ「スウニー」	尾駮字野附 1-8	72-2016
7	大石総合運動公園(総合体育館)	尾駮字野附 533-1	72-2191
8	尾駮レイクタウン北1号公園	尾駮字野附 1320-1	
9	尾駮レイクタウン北2号公園	尾駮字野附 1336	
10	尾駮レイクタウン北3号公園	尾駮字野附 1335	
11	二又夢はく館	尾駮字二又 83-26	72-2191
12	室ノ久保地区学習等併用センター(講堂)	尾駮字川向 30-12	74-2760
13	児童厚生体育施設	鷹架字久保ノ内 77-1	74-2735
14	戸鎖公園	鷹架字久保ノ内 46-2	
15	スパハウスろっかぼっか	鷹架字内子内 337	74-2161
16	千歳平小学校グラウンド	倉内字笹崎 396	74-2166
17	千歳中学校グラウンド	倉内字笹崎 1021-1	75-3141
18	千歳平はるき小公園	倉内字笹崎 394	
19	千歳平ひがし児童公園	倉内字笹崎 288	
20	千歳平にし児童公園	倉内字笹崎 435	
21	第二中学校グラウンド	倉内字湯沢 112-1	73-8835
22	南小学校グラウンド	倉内字湯沢 12-8	72-3886
23	倉内コミュニティセンター	倉内字道ノ上 21-1	72-4700
24	青森宝栄工業株式会社	平沼字田面木 246	
25	熊野近隣公園	平沼字道館 123-6	

揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」とは、青森県内で想定される太平洋側海溝型地震(モーメントマグニチュード9.0)が発生した場合に、地域の地盤の状況と、そこで起こりうる地震の両面から地域の地盤の揺れやすさを震度として評価し、50mメッシュで表現したものです。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の地盤の揺れはマップに示した震度よりも強くなったり弱くなったりすることがあります。このマップの作成方法は、平成17年3月に内閣府が策定した「地震防災マップ作成技術資料」に基づいています。

震度と揺れの状況

揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。

震度7

屋内の状況

- ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

屋外の状況

- 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

はわないと動くことが出来ない。飛ばされることもある。

震度6強

屋内の状況

- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。

屋外の状況

- 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
- がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

立っていることが困難になる。

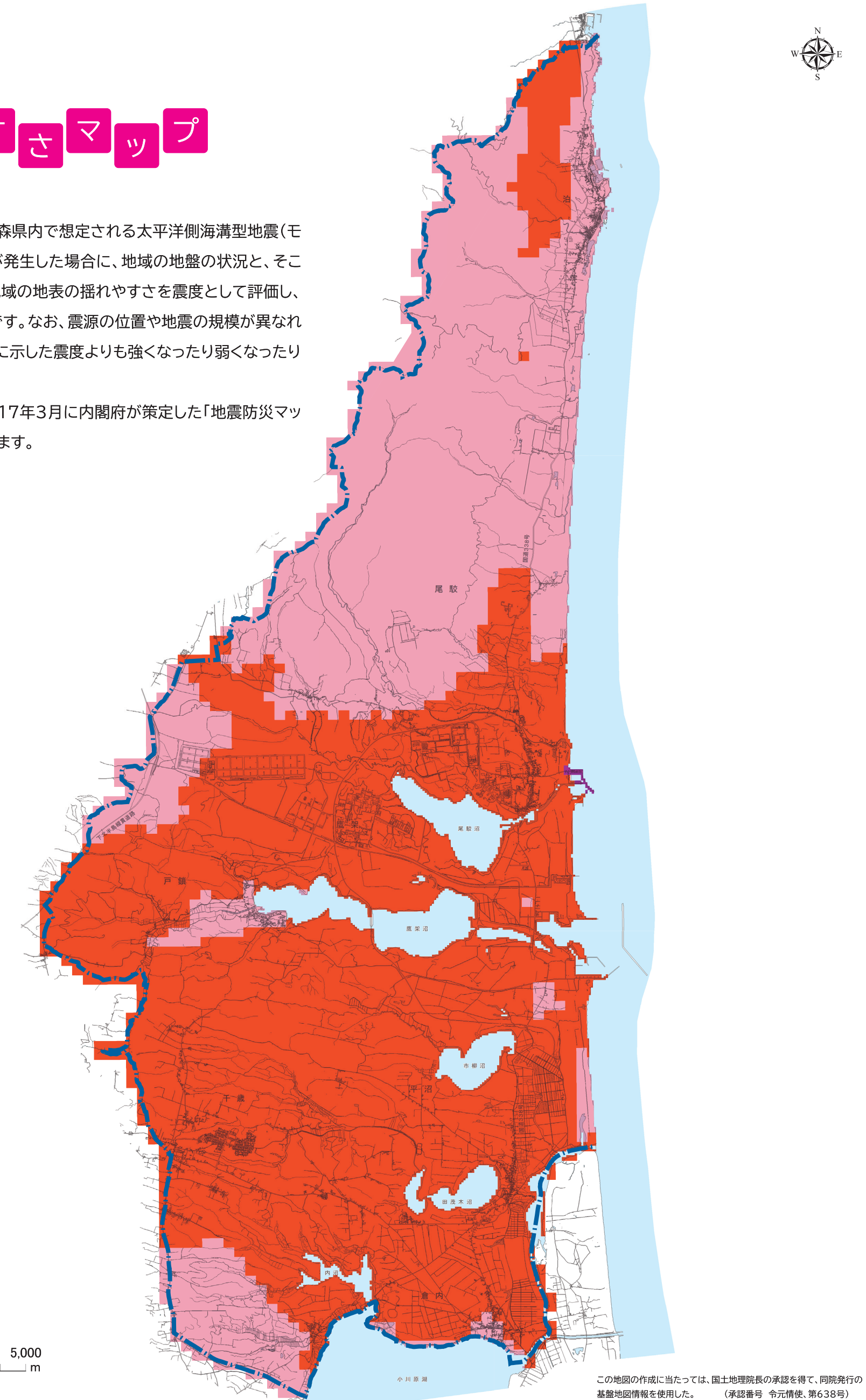
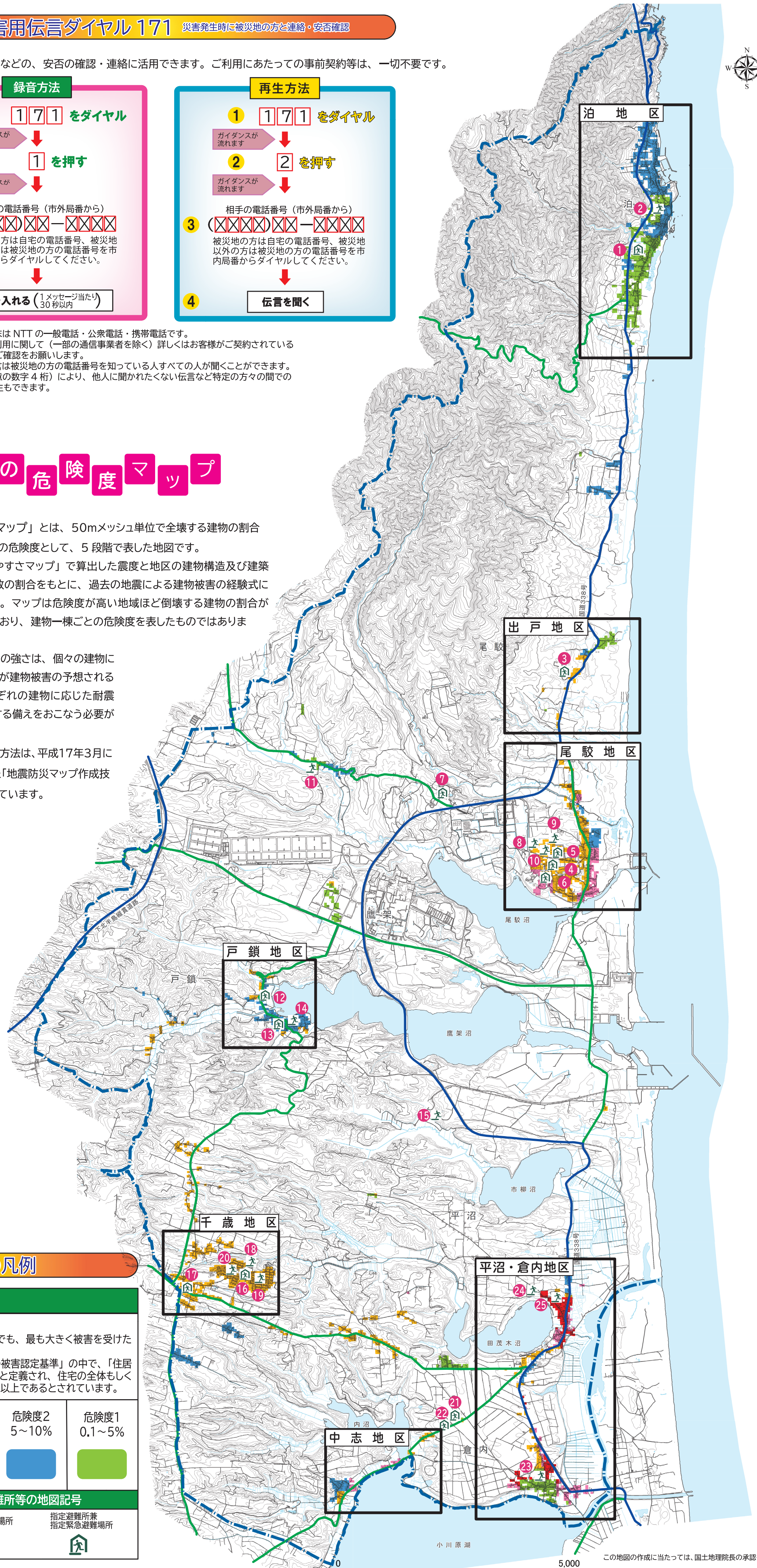
震度6弱

屋内の状況

- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
- ドアが開かなくなることがある。

屋外の状況

- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。
- 建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
- がけ崩れや地すべりが発生することがある。



この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 令元情保_第638号)

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しました。(承認番号 令元情保_第638号)